

道徳科学習指導案

主題名「調和のある生活を送るために」〔学指要領：A（2）節度、節制〕

令和7年9月 第1学年 指導者 星野 佑樹

I 主題設定の理由

1 価値観

本主題は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編におけるA（2）「節度、節制」にあたる。内容項目は、「望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り、節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事」である。

自己を保ち生きていく上で心身が健康であることは大切であり、特に食事・睡眠・運動について改めて考える必要がある。そこで、心身の健康を損ねることのないように「節度」を意識し、その節度を超えないように欲望などを抑え、自己を統制する「節制」が求められる。

中学校では、心身ともに著しい発達を見せ、活力にあふれ意欲的に活動できるようになるが、心と体の発達が必ずしも均衡しているわけではないため、軽はずみな行動によって健康を損なってしまったり、これまで身に付けてきた基本的な生活習慣に対して反発や抵抗を示したりすることもある。

指導に当たっては、節度、節制の大切さについての理解を一層深め、望ましい生活習慣を身に付けることの大切さについて考えさせることで、調和のある生活を実現しようとする道徳的実践意欲と態度を育てたい。

2 生徒観

本学級の生徒は、道徳科の『「どうせ無理」という言葉に負けない』A（5）、『傍観者でいいのか』A（1）『山に来る資格がない』A（2）において、様々な意見を出し、友人同士との対話を通じて学習してきた。このような学習をしてきた生徒たちは、自分の可能性を追求し、前向きな気持ちであらゆることに取り組んでいこうとする意欲を高めることができている。また、人間的な弱さを理解しつつ、弱さを乗り越え、自らの意思や判断で責任ある行動をしようとする大切さに気付いた生徒も少なくない。さらに、充実した社会生活を営む上で望ましい生活習慣を進んで身に付けようとする気持ちをもつ生徒もいる。しかし、まだ精神的な幼さを残しているため、自己の欲望や衝動のままに行動してしまうこともある。また、交友関係や行動の範囲が大きく広がったことで生活のリズムを崩したり、不摂生な生活を送ったりしている生徒も多い。このような生徒たちに、節度を守ったり、節制に心掛けたりすることを「我慢といったマイナス」のイメージではなく、「調和のある生活を送るといったプラス」として実感できるようにすることで、本主題の価値に迫りたい。

3 教材観 教材名「よごれた教科書」（出典：東京書籍 新しい道徳）

2019年12月に新型コロナウイルス感染症が中国で初めて確認され、その後世界的な大流行に至り、社会全体が混乱した。その時期に、多くの生徒が抱えていたと思われる問題を題材にした教材である。現在も、自分自身の生活をコントロールしながら調和のある生活を心掛けることが大切であることには変わりがない。主人公と同じような状況は生徒の身近にあり、追体験しやすい教材である。

主人公のサトシの変容を捉えながら、自分自身と重ね合わせ、今後の生活について考えるきっかけとなる教材である。

4 研究との関わり

本学級の生徒は、他者の意見に頷いたり賞賛したりしながら対話することができている。また、積極的に挙手をして意見を発表したり、ワークシートに自分の意見を書いたりすることもできる。しかし、道徳的価値にかかわる事柄を自身の問題として捉えることに困難を抱えている。また、他者の意見に流されてしまうことに課題が見られる。

そこで、本研究の手立てとして、①発問の組み立ての工夫と②話合いの工夫によって、問題意識をもち、人間としての生き方を考えられるようにする。①では、問題解決に向けて主体的に考え、自発的な話合いを深めるために、心情や言動に共感、投影するための発問、心情や言動を分析、批判するための発問、道徳的価値を追求するための発問を組み立てた。②では、それぞれの発問に対して話合いをペア、小人数、中人数、全体と段階的に設定した。話合いでは思考ツールを用いたり、生徒が主体となるp4c的な対話を取り入れたりする。二つの手立てを往還することで、生徒が問題意識をもって授業に取り組み、人間としての生き方について考えを深めることにつながると考えた。

II 本時の学習

1 ねらい 主人公の心情や行動について考えることを通して、節度を守り節制に心掛けることの大切さを理解し、安全で調和のある生活の実現に努めようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

2 展開

主な学習活動 主な発問(◎中心発問◇補助発問) 予想される生徒の意識〔S〕	◎研究上の手立て ○指導上の留意点
<p>1 自分の日常生活を振り返る。(導入5分) S:勉強・部活動・習い事を頑張りたい S:平日、休日を振り返ると、ケータイを使う時間が多いな。クラスの友人と比べると、夜更かしをしてしまっているな S:自分の生活を見直したい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><くめあて> どうすれば正しい生活習慣を身に付けることができるだろうか</p> </div>	<p>○本時の内容と向き合うことができるように、アンケート結果を振り返る。 ◎生徒が問題意識をもって授業に取り組むことができるように、「生活を改善したくても難しいのはなぜだろう」と発問し、道徳的価値とのズレを意識する。 ○安全で調和のある生活を目指す場合の「納得解」を目指せるように、アンケート結果をもとに方法論ではなく、意欲や態度に焦点を当てながらめあてを提示する。</p>
<p>2 教材の概要をまとめたスライドを見ながら、内容を確認する。(5分)</p> <p>3 サトシについて考える。(展開①25分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇学校が臨時休校になった時、サトシはどういう気持ちだったのだろうか。(あなたが同じ状況になったらどう思うか。)</p> <p>S:サトシは、最高だと思った S:私なら、不安になってしまうと思うな</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇なぜサトシは「もう1回やろう」と言ったのでしょうか。(「もう1回やろう」という発言はよいことかよくないことか)</p> <p>S:みんなでゲームを楽しんでいたのだから、続けたい気持ちが強いから S:楽しいことはみんなもずっとやりたいと思うので、誘ってあげるとはよいこと S:楽しいことでも、他にやることはあるのだから無理に誘うのはよくないこと</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎サトシは教科書のよれよれになったページをめくりながら、どのようなことを思っただろうか。</p> <p>S:休校前、算数を頑張ろうとしていたなあ S:頑張ろうとしていたことを忘れて、ゲームばかりしている自分が恥ずかしい S:私たちはどのような生き方をしていかなければならないかな</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇なぜサトシはよごれた教科書を机の上に置いたのだろうか</p> <p>S:いつでも見直して初心を忘れないようにする S:自分への戒めのために置いた</p> </div>	<p>○サトシの心情や場面を視覚的に理解できるように、大型テレビでスライドを見ながら教材を振り返る。 ◎サトシへの共感について自分の考えをもち、ペアの対話につながるように、サトシに投影する発問を設定する。 ○サトシの発言に対して多面的・多角的に分析できるように、セリフに対する考えやセリフへの応答について分析する発問を設定する。 ◎少人数の対話につながるように、あえて二項対立を促す発問を設定する。 ○生徒同士の意見を可視化して対話できるように、ICT端末を活用して意見を一覧で表示する。 ◎道徳的価値の追求につながるような新たな問いを生み出すために、葛藤場面における登場人物の考えや思いを多面的に考えられる発問を設定する。 ○中人数の自由な対話となるように、コミュニティボールを用いてp4c的な対話とする。 ○中人数の対話から生徒が主体的に考え、議論できるように、思考ツールを用いて意見を分類したり、問題を焦点化したりする。 ◎問題解決に向かう行動だったことに気付くことができるようにし、生徒一人一人がそれぞれの納得解をもつことができるように、全体で対話し、意見を取り上げる。</p>

<p>4 めあてを振り返り、事前アンケートに書いたバランスのよい生活のために必要なことは何か考える。(展開②10分)</p>	<p>○ケータイ(インターネットやゲーム)の使用だけに焦点をあてることのないように、自分が考える生活のバランスを崩してしまうようなものを広く捉え、これからの生活を考えられるようにする。</p> <p>○これからの生き方に活かすことができるように、節度(ルール)だけではなく、節制(気持ち)について焦点化する。</p> <p>○全体で意見を共有し、節度・節制について理解を深めることができるように、道徳的価値に迫る生徒の考えを発表させる。</p>
<p>◇バランスのとれた生活を目指すためには、どのようなことが必要だろうか</p>	
<p>S:ケータイ(インターネット・ゲーム)を使う時間を決める</p>	
<p>S:ケータイを使うだけでなく、学習やスポーツなどバランスを考えて、生活をする</p>	
<p>S:時間を守る気持ちをもつことが必要</p>	
<p>S:どのようなときでもけじめをつけて生活しようとする思いをもつ</p>	
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや、考えを振り返る。(終末5分)</p>	<p>○振り返りがなかなか書けない生徒でも授業の振り返りができるように、振り返りの視点を明示し、一般化と内省化を図る。</p>
<p>【振り返り】</p> <p>S:今日の授業では、正しい生活習慣を身に付けるために生活を振り返ることが必要だと感じました。節度を守り、節制に心掛けて、弱い気持ちをコントロールしようという気持ちをもって生活していこうと思います。</p>	

◆評価の視点

生徒同士の話し合いで、自分と違う立場の考えを理解しようとしている様子から、「節度を守り、節制に心掛けることの大切さについて、多面的・多角的に考えている」姿を見取る。

登場人物を自分に置き換えたり、客観的に捉えたりするワークシートの記述から、「節度を守り、節制に心掛け、安全で調和のある生活を送ることについて、自分自身との関わりの中で考えている」姿を見取る。

3 板書計画

よごれた教科書
のぞましい生活をめざすには、どのような気持ちが必要なのだろうか

<p>サトシが「もう1回やろう」と言ったことに対して、あなたはと思うか。</p>	<p>サトシはどうしてよごれた教科書を机の上に置いたのだろうか。</p>	<p>バランスのとれた生活を目指すためには、どのようなことが必要だろうか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいことに誘ってあげるとはよいこと ・楽しいことでも、他にやらなくてはいけないことがあるから、よくない ・1度や2度くらいはよいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも見直して、初心を忘れないようにするため ・失敗したなと思う気持ちをいつでも思い出すことができるようにするため ・過去の自分が頑張ったもので自分の自信になるものだから 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケータイの時間を決める ・学習の時間を設定する ・テレビの時間を減らす ・目標を決める ・自分のことを考える気持ち ・失敗を振り返って改善する気持ち ・自分の欲を抑える ・何事にもメリハリをもつ

【電子黒板】アンケート結果・あらすじ

The images show: 1) A student's work on a 'Balance of Life' survey. 2) A teacher's presentation slide about the survey results. 3) A student's work on a 'Balance of Life' survey. 4) A teacher's presentation slide about the survey results. 5) A student's work on a 'Balance of Life' survey. 6) A teacher's presentation slide about the survey results. 7) A student's work on a 'Balance of Life' survey. 8) A teacher's presentation slide about the survey results. 9) A student's work on a 'Balance of Life' survey. 10) A teacher's presentation slide about the survey results. 11) A student's work on a 'Balance of Life' survey. 12) A teacher's presentation slide about the survey results.